令和３年(2021年)６月 14 日

桜塚小学校　保護者のみなさま

豊 中 市 立 桜 塚 小 学 校
校 長　　後 藤　るみな

本年度の水泳指導について

初夏の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のことと存じます。日頃より本校教育に対しご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、金曜日に保護者メールにて配信いたしました「水泳指導」についてですが、新型コロナウイルス感染拡大の収束の目処が立たない状況では、常に命と背中合わせの水泳学習を安心して実施できないという教職員の不安を払拭することができなかったため、中止することといたします。

5 月下旬より気温が上昇し、暑さ指数【WBGT】が厳重警戒である28℃を超え、体育の時間はもとより休み時間も外で遊ぶ場合は、マスクをとるように指導しています。また、マスクを外すだけでなく、15 分程度運動すれば休憩をとり水分補給をしたり、2 グループに分けて運動と休憩を交互にしたりする等、工夫しながら体育の授業を実施しています。そんな中で、活動を行っていないときには、おしゃべりはしない、友達との距離をとるなど指導を行っていますが、十分でないこともあります。

これまで、教職員全員で水泳指導を実施する方向で、様々な角度から課題解消や課題点検を行ってきました。学校では、常にマスク着用・手洗い・換気等感染拡大防止策に気をつけながら教育活動を行っていますが、マスクをしていない水泳の授業で「大声をだしていないか」「友だちとの距離がとれているか」など常に注視したり、その指導に手がとられたりする中で、プールの中で水泳練習をしている児童を、目を離さず守ることができるのかという不安が一番大きいということです。

マスクを外している時間をできるだけ少なくするためには水泳指導を 1 時間、密を避けるためには学級ごとで入水することも検討いたしましたが、1 学級入水するためには「水中での指導１名」「陸上監視１名」「陸上指導 1 名」が必要です。少しの時間でも水泳指導を実施したいという思いからスタートし、様々な課題の解決に向けて時間を費やし検討してまいりましたが、このような結果となりましたこと、水泳指導を楽しみにしていた児童には申し訳ないと思っています。検討するにあたりかなりの時間をかけたため、中止の判断が遅くなりましたことも重ねてお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

一日でも早く新型コロナウイルス感染拡大が収束し、安心して遊んだり学習したりできる日常が戻ってくることを願います。何卒、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。